

第1回秋田地域コアフォーラムの概要

- 日 時 平成25年12月20日(金) 15:00~17:30
- 場 所 カレッジプラザ 講堂 (秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階)
- 参加者 66名 (うち学生 5名)
- フォーラム概要

1 主催者挨拶 小林淳一 秋田県立大学理事兼副学長

2 スーパー連携大学院の取組み

宇梶 純良氏 スーパー連携大学院コンソーシアム 統括コーディネーター

スーパー連携大学院の活動目的や現在の活動状況と課題などについての説明があった。また、フォーラムに参加いただいた企業の方々に対して、スーパー連携大学院の活動に参画していただき、スーパー連携大学院コンソーシアムの全国ネットワークやスーパー連携大学院プログラムの教育コンテンツを有効にご活用いただきたいとの提案があった。

3 基調講演

(1) 「未来が変わる、豊かさが変わる 地球環境時代の環境未来都市構想グリーンフロート」

竹内真幸氏 清水建設株式会社設計プロポーザル統括 環境・技術ソリューション本部 本部主査

グリーンフロート構想はなぜ、赤道直下なのか、どうグリーンであるべきかを提起し、特徴ある施設の概要など、壮大な構想について説明があった。

(2) 「アベノミクスの実現に向けて 秋田から発信する地域コアの役割について」
平尾 敏氏 野村證券株式会社金融公共公益法人部 産学官連携シニアマネージャー

アベノミクスについて世界はどう評価しているのか、ハイテク業界・自動車業界、流通業界などの株価の推移について具体的に説明し、秋田県はグローバルに対応ができるのか課題を提起した。

(3) 「グリーンフロートでの米の事業に必要な技術開発」

森田弘彦 秋田県立大学生物資源科学部教授

人工島の面積で米が自給できるのか、水は足りるのか、熱帯の砂耕稲作とはどのようなものかなど詳細にわたり、具体的な説明があった。

(4) 質疑応答

グリーンフロート構想について本学職員・学生より清水建設(株)竹内氏にさまざまな質問があり、竹内氏より構想責任者として技術的観点、社会的観

点より質問者に対して丁寧な説明があった。

【質問テーマ】

- ・グリーンフロートに暮らす民族について
- ・エネルギーの確保について
- ・防災について
- ・課題の進捗状況について
- ・構造物や設備の材料について
- ・浮体構造物の建築的課題について
- ・国際法や領土の問題について

以上